

Ⅲ 令和2年度 第23回研究大会

第23回宮崎県特別支援教育研究連合研究大会

1 大会概要

- (1) 大会主題 「子どもたちの社会参加を目指し、多様化する障がいに応じた特別支援教育の充実」
- (2) 期 日 令和2年7月29日（水）午前10時～午後3時20分
- (3) 場所（会場） 南郷ハートフルセンター 日南市南郷町大字中村乙7051番地25

2 内 容

- (1) 目 的 特別支援学校及び特別支援学級設置校相互の連絡・連携を緊密にするとともに、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の在り方を求め、今後の解決すべき課題を検討し、会員の資質向上と本県特別支援教育の充実・発展に資する。

- (2) 日 程

| 9:30 | 10:00 | 10:15 | 11:30 | 11:45 | 13:00 | 15:10 | 15:20 |
|------|----------|---------------|----------|-------------------|-------|-------|-------|
| 受付 | 開会 行事 | 実践発表 質疑・応答 | 指導 講評 | 昼食・休憩 (教材・作品展) | 講 演 | 閉会 | |

3 報 告

今年度の研究大会は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、実施することができなかった。計画していた内容の詳細については、以下の通りである。

- 実践発表「高等学校における特別支援教育～校内支援体制の構築と通級による指導～」
 - ・ 進路決定から見えてくる、小・中学校で必要な特別支援教育の在り方
 - ・ 合理的配慮
 - ・ 通級による指導の実践

宮崎県立日南振徳高等学校 教諭 熊本 靖

- 指導講評 宮崎県教育委員会

- 講 演 演題「未定」

- ・ 講師 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター長 笹森 洋樹 氏

本大会は、児童生徒の学習指導に悩まれている小・中学校の先生方や、障がいのある子どもたちがどのような進路へ進むのかということ、日南振徳高校の通級指導教室の取組を通して、長い目で見た特別支援教育の在り方と、将来のために今できる指導について考える場になることを願って計画した。

午後は、国立特別支援教育総合研究所の笹森洋樹氏から発達障がいや合理的配慮の取組等について、熊本先生の実践発表と関連した講演会を実施する予定であった。進路決定は障がいの有無に関わらず、全ての子どもたちに訪れる。その瞬間までに特別支援教育という観点から、どのような学習指導や生活指導ができるか、教職員の共通理解を深めつつ、今後の実践につながることを本大会のねらいとしていた。

来年度の研究大会については、宮崎県特別支援教育研究連合の体制見直しのため、休会の予定である。